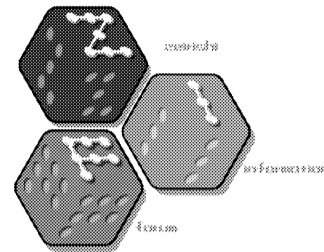




情報通

2010. September 9月号
発行日：平成22年9月1日
発行：東京税理士会
情報システム委員会
題字：金井塚 清（豊島）

税理士情報フォーラム2010 税理士事務所 IT化コンテスト



開催日 平成22年10月6日(水) 午前10時～午後5時
参加費無料・入退場自由

〔会員・事務所職員の外、
どなたでもお越しいただけます。〕

- 主催** 東京税理士会情報システム委員会
- 共催** 東京税理士会データ通信協同組合
税理士情報ネットワーク東京ユーザー会
- 場所** 東京税理士会館

来場者特典

10月6日当日、来場者先着100名に
USBメモリー(4GB)をプレゼント



今年も開催！ITツールプレゼント抽選会

全てのブースを見学していただき、IT化コンテスト
で投票いただいた方を対象に抽選会を行います。

- スキャナー、●DocuWorks等、魅力ある賞品を
ご用意いたします。

※来場者特典の進呈と抽選会の参加は東京税理士会会員に限ります。
※抽選会は閉会式(午後4時～)で行い、閉会式出席の会員のみ抽選対象となります。



税理士事務所IT化コンテスト

ITを使いこなしてスマートに業務を行う会員の提案・業
務運営をぜひご覧になってください。来場者の投票で
コンテストの最優秀賞を決定いたします。

2階

※出品作品の著作権、その他の内容については、募集要項
をご覧ください。

IT何でも相談室

情報システム委員会の委員、そしてコンテスト出場者が
相談に応じます。この貴重な機会をぜひご利用ください。

DocuWorks

今年も富士ゼロックス(株)のご協力をいただき、Do
cuWorksの使用について研修を行います。電子申告、
ペーパーレスの事務所経営と大変相性の良いソフトで
すので、この機会に何でもご相談下さい。

地下

TAINS

データベースTAINSの検索、使用について解説し
ます。これを機にTAINSを使いこなしてみませんか？

ミニセミナー

「魔法陣による電子申告実務研修」

とき 9月27日(月) 13:00～14:00

ところ 東京税理士会館 2階202号室
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-6

定員 先着10名
講師 東京税理士会情報システム委員会委員
対象 本会会員、事務所職員 ※無料

事前申込制です。メール、お電話でお申し込みくだ
さい。

e-mail johosystem@tokyozeirishikai.or.jp
※タイトルを「ミニセミナー申込」としてください。
(記載事項(①支部、②氏名))
TEL 03-3356-4467 (東京税理士会事務局業務研修課)

今回のフォーラムでは、「税理士事務所IT化コンテスト」を開催します。本会会員の中からIT化を促進するためのアイデア等を募集し、下記の会員にプレゼンテーションをしていただくこととしました。応募者各位には、大変貴重な情報を提供いただきましたことを、この場を借りて御礼申し上げます。

コンテストでは、来場者全員が審査員になります。会員・事務所職員はもちろん、他会会員等、どなたでもご来場いただけますので、『このアイデアはいいな。』『この情報はすばらしい。』など、気になった情報提供者に一票を投じてください。

タイムテーブル (入退場自由)

2階		地下	
201+202号室		203号室	101+102号室
10:00~10:15 開会式・ガイダンス		103号室	
税理士事務所IT化コンテスト	ITなんでも相談室	TAINS研修	DocuWorks研修
①~③ 10:20~11:30 ※内容は下記出場者一覧をご覧ください。	個別相談室 10:30~16:00 (受付終了15:30) 情報システム委員会の委員が来場者の個別相談に応じます。事務所のIT化、電子申告のご相談、パソコンの初歩等、何でもご相談ください。	1回目 10:30~12:00 ※1回目と2回目の研修は同内容です。	1回目 10:30~11:30 ※1回目と2回目の研修は同内容です。
休憩		休憩	休憩
①~③ 12:20~15:55 ※内容は下記出場者一覧をご覧ください。		2回目 13:30~15:00	2回目 13:30~14:30
閉会式 (表彰・抽選会) 16:00~17:00			

税理士事務所IT化コンテスト出場者一覧

プレゼン時間	氏名・支部	タイトル・概要
1 10:20~10:40	安田 信彦 (日本橋)	お金を掛けずにココまで出来る事務所のIT化 お金を掛けずにココまで出来ます。実際に私の事務所ですべての「無償=タダ」の安心して仕事に使えるアプリケーションを今回は10種類実例を元に自信を持ってご紹介致します。「うん!これは使える」と思うものからチャレンジしてみてください。事務所のIT化の一步となること間違いありません。ぜひお試しください。
2 10:45~11:05	保坂 文子 (練馬東)	コピー機を使わなくなったわけ 資料を「コピーをとる」という目的のために持ち歩くことがあります。紛失しないよう、とても気を使います。また、いったん保管場所から取り出した資料は、コピーが済んだら、きちんと元の場所に戻さなければなりません。少しIT化すると、紛失の危険を回避でき、円滑に資料を活用できるようになります。
3 11:10~11:30	浅見 哲 (麹町)	事務所実務の合理化?どう考えてます?どうしてます?どうなると思ってます? ー究極の合理化への一布石ー 電子申告は税理士の義務?否、電子申告が出来なければ税理士制度の存続が危うくなるだけです。この過激な時代を生き残っていくためには過激な業務の変化が必要です。ダーウィン言と伝えられる「生き残るのは変化に対応できる種だ!」の実践としての合理化コスト削減としてのペーパーレス化のための一実験紹介
休憩		
4 12:20~12:40	斉藤 潤一 (荒川)	電子ファイル管理ツール『適文適所』の事例紹介 電子申告した申告書などをPDFやDocuWorks等の電子文書で安全に保管・運用するため、共通データ・フォルダの構成及び、ファイル名のルールを自動的に決めるとともに、電子文書作成時に、マウス操作だけで簡単に名称及び保管場所を指定できる独自のサポート・ツールの運用実例をご紹介します。
5 12:45~13:05	矢崎 義光 (西新井)	事務所のバックアップにWindows Home Server パソコンによる業務効率化向上で忘れてならないのがバックアップです。自分で 収集作成したデータとパソコンシステムを、容易に保存と復元できるのが重要です。これと集中管理に最適なのが、小規模事務所に適したWindows Home Serverです。これにはリモート機能もあり、外部からネットを利用して操作できます。
6 13:10~13:20	辰巳 浩一 (新宿)	報酬入金管理システム 報酬入金状況を管理するシステムです。使用ソフト:マイクロソフトアクセス2003。アクセス2010でも動作可能です。
7 13:25~13:45	堀 泰博 (町田)	強みを活かし、顧客の視点で築く新たな事務所システム ~iPadで、顧問先も税理士も満足できる、最小投資・最大効果の仕組みづくり~ 最新のクラウドやSaaSはチャンスですか、脅威ですか。同じく最新のiPad、PCのようにはできないこともあります。しかし、iPadは伝えたいことを分かりやすく伝える、優れたコミュニケーション・ツールでもあります。iPadを使い、税理士だからこそできる、業務に耐える具体的な活用方法をご紹介します。
8 13:50~14:10	高津 純一 (麻布)	ペーパーレス事務所のその後 (電子申告への対応) 2000年5月から事務所のペーパーレス化を始めて、今年の5月で10年が経過しました。2008年の2月からは電子申告に取り組んだところ、ドキュワークスを使ったペーパーレスは電子申告と実に相性が良く、業務の効率化に役立っています。この実際の作業例をご覧ください。
9 14:15~14:35	中臣 豊 (上野)	パソコン遠隔操作の活用と実践 ーインターネットVPN(仮想専用通信回線)を利用してー 事務所から外出すると、事務所の会計データにアクセスできません。それを実現するのが遠隔操作の機能です。セキュリティを確保して、事務所のパソコンに接続し、ソフトウェアを操作できます。顧客からの急ぎの問い合わせがあった時にも非常に便利な機能です。操作性には欠けませんが、iPhoneやiPadでもデータの閲覧はできます。
10 14:40~14:50	池田ひろみ (町田)	中小企業会計指針チェックリストの簡単作成 エクセルシートへの簡単な入力操作で中小企業会計指針チェックリストが作成できます。作成日の自動入力、コメント機能、入力セルの着色、事業年度末日の自動入力、チェック欄の○位置の自動調整等の工夫が凝らされています。
11 14:55~15:15	井ノ上陽一 (神田)	IT化により3つの「作業」を減らそう! 税理士事務所には「作業」的な業務と「クリエイティブ」な業務があります。限られた時間・人員で、「クリエイティブ」な業務を行うには、「作業」にかかる時間・コストを減らさなければいけません。資料の作成、資料の整理、情報管理といった3つの「作業」をIT化により、どう効率よくこなしていくかをご紹介します。
12 15:20~15:30	三浦 弘行 (王子)	マクロの利用による経営分析資料作成の効率化 当事務所においては、連年対比分析表等、各種経営分析資料を作成し、顧客に提供しておりますが、この作成においては、マクロを活用しております。このマクロの活用により、手作業を可能な限り排除した結果、作成時間が大幅に短縮されました。今回はその内容について、具体例を紹介しながら解説致します。
13 15:35~15:55	関根 茂 (西新井)	デジカメ会計の新研究 (少子高齢化社会の人材活用術) 世界に類を見ないほどの少子高齢化社会を迎え、子育てや介護のために離職を余儀なくされる人が増えている。この傾向は少なくとも今後45年間続き、超高齢化社会を迎えることになると言われている。ならば、IT技術によるこの労働力の活用が、会計事務所においても急務ではないだろうか。問題点を挙げ、解決策を提示する。